

急性期病院における転倒予測 AI システム導入による転倒転落チームの取り組みについて

1. 研究の対象

2023 年 4 月から 10 月に当院に入院されていた患者さん

2. 研究目的・方法

入院中は、入院の原因になった病気や怪我に伴う身体機能の変化や生活リズムの変化、更にその変化によって一時的に意識や認知機能が低下する「せん妄」といわれる症状などが誘発され、転倒転落が発生しやすい状況となります。入院患者さんも高齢の方が多く、入院時の転倒転落発生件数も年々増加しています。一方、看護師を中心とした医療スタッフの転倒転落の予防に関する業務は、評価・対策・報告など多岐にわたることで負担が増加しています。そこで、当院では転倒転落予防に関わるスタッフの業務負担軽減や転倒転落予防効果の改善を目的に転倒転落予測 AI システム Coroban®を導入いたしました。この研究では、電子カルテの情報から対象とされる患者さんの転倒転落に関する情報を集積し、転倒転落予測 AI システム (Coroban®) を新たに導入したことで、転倒患者の特性の変化や医療スタッフの業務量などの変化等が生じたかを見いだすことを目的としています。

研究期間は、病院長許可日から 2025 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

入院から転倒するまでの期間、転倒転落アセスメントシートと Coroban®, 両評価法のスコア
診療録: 転倒転落アセスメントシート、入院日、転倒日、性別、年齢、Coroban® のスコア 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3 Tel：0538-38-5000

研究責任者：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科 鈴木亮馬